

令和8年度 みえ森と緑の県民税を活用した取組

当初予算総額
1,098,768千円

みえ森と緑の県民税を活用し、2つの基本方針に沿った取組を進めます。

基本方針1 災害に強い森林づくり

◇災害に強い森林づくり推進事業 (320,855千円)

流木となるおそれのある渓流沿いの樹木の伐採・搬出、周辺の森林整備などに取り組めます。



実施前



実施後

◇森林情報基盤整備事業 (100,000千円)

航空レーザ測量とデータ解析により、整備が必要な森林を明らかにします。

◇災害に強い森林再生事業 (82,750千円)

シカの食害・気象害等を受けた森林について、早期に回復するための植栽や下刈り、造林地における獣害防止施設の整備を支援します。

基本方針2 県民全体で森林を支える社会づくり

◇森を育む人づくりサポート体制整備事業 (59,281千円)

森林教育ワークブックの発行や各種講座を開催するほか「みえ森づくりサポートセンター」の運営、森林教育施設の整備などに取り組めます。



森林教育指導者の育成

◇みんなで取り組む三重の森づくり推進事業 (10,813千円)

森林フェスタの開催などを通じて県民の皆さんが森を育む意識の醸成を図るほか、企業による森づくり活動を促進します。

◇生物多様性推進事業 (3,604千円)

外来生物の調査、自然環境保全活動の支援、自然観察会の開催などに取り組めます。

◇森林とふれあう自然公園環境整備事業 (29,816千円)

自然公園施設等を活用した森林教育のほか、施設の保全活動に取り組めます。

県実施

市町実施

◆みえ森と緑の県民税市町交付金事業 (478,363千円)

◆基本枠事業

地域の実情に応じて「対策1：土砂や流木による被害を出さない森林づくり」「対策2：暮らしに身近な森林づくり」の施策を展開します。

◆連携枠事業

防災機能強化に向けた森林整備を実施するほか、倒木により電線等のライフラインを寸断する恐れのある危険木を事前に伐採します。



実施前



実施後

ライフラインを守る事前伐採

◆基本枠事業

地域の実情に応じて「対策3：森を育む人づくり」「対策4：森と人をつなぐ学びの場づくり」「対策5：地域の身近な水や緑の環境づくり」の施策を展開します。

◆連携枠事業

県民の皆さんが自ら木を植える機会の創出に向けて、「県民参加の植樹祭」を開催します。



木製品の導入と森林教育

制度運営

◇みえ森と緑の県民税制度運営事業 (13,286千円)

みえ森と緑の県民税を活用した事業について評価検証を行う附属機関「みえ森と緑の県民税評価委員会」を運営します。また、事業の成果を広く周知するため、成果報告書の作成や成果発表会の開催に取り組むほか、さまざまな媒体を活用した普及啓発を進めます。

注1) ◇は県実施、◆は市町実施を表しています。

注2) 予算額は、事業費のうち、みえ森と緑の県民税を充てる額を示しています。